

第4回諏訪湖イベントひろば基本計画専門委員会 会議録

日時

令和2年7月30日(木)午前11時～午前12時

会場

諏訪市役所 5階 大会議室

出席者

< 諏訪湖イベントひろば基本計画専門委員 >

平尾勇委員長、林直樹委員、今井晴彦委員、浅井学委員、五味武嗣委員、
北原弘子委員、小針知栄美委員

< オブザーバー >

長野県産業労働部、長野県諏訪地域振興局、諏訪圏工業メッセ実行委員会、
リビルディングセンタージャパン

< 運営支援 >

信州地域デザインセンター中平氏

< 事務局 >

渡辺副市長、木島企画部長、寺島企画政策課長、中澤企画政策係長、茅野企画政策係主査

会議概要

1 開会

(木島企画部長)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で開催を延期しており、ご心配をおかけしていましたが本日から改めて基本計画策定に向けて動いていく。これより第4回諏訪湖イベントひろば基本計画専門委員会を開催する。本日は五味嗣夫委員が欠席となっている。
- ・傍聴の希望があるが許可しても良いか。
委員の了承を頂いた後、傍聴希望者入室。

2 副市長挨拶

(渡辺副市長)

- ・委員、オブザーバーの皆様にはお忙しいところご出席いただきありがとうございます。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で専門委員会は先延ばしになっていた。そんな中ではあるが、今後の展開や調査を見据え、本日の会議では大きなポイントとして、導入機能や建屋の取扱いを整理して確認をいただき、次の段階に進んでいきたい。
- ・計画策定までのスケジュールも遅れているが、スケジュールありきではなく進めていく。その過程で、市民の皆さんからの意見を聴く機会を設ける予定である。
- ・感染症対策を講じ、限られた時間での会議となるが、積極的な意見を頂きたい。

(木島企画部長)

- ・それでは協議に入りたい。進行は平尾委員長にお願いしたい。

3 報告

(1) 諏訪湖イベントひろば活用可能性調査結果について

(平尾委員長)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で前回から期間が空いてしまったが、その渦中において計画策定をしていることで、今後の新たな時代に合致した内容を入れ込むことができると考えていきたい。
- ・(1) 諏訪湖イベントひろば活用可能性調査結果について、説明を願いたい。

(八千代エンジニアリング(株))

資料1に基づき説明

(2) 今後のスケジュールについて

(平尾委員長)

- ・引き続き、(2) 今後のスケジュールについて、説明を願いたい。

(寺島企画政策課長)

資料2に基づき説明

(平尾委員長)

- ・報告事項について質問、意見等あるか。

(A委員長)

- ・調査結果は、市場の状況を踏まえた貴重な資料となっている。この後協議する内容にも調査結果が反映されていると思う。

3 協議

(1) 諏訪湖イベントひろば導入機能について

(平尾委員長)

- ・(1) 諏訪湖イベントひろば導入機能について、説明を願いたい。

(茅野企画政策係主査)

資料3に基づき説明

(平尾委員長)

- ・意見や質問があれば伺いたい。

(A委員長)

- ・今まで機能を重視し、どんな機能を置いていくかを中心に議論してきた。今回、機能の主軸は産業振興機能と示している。そしてその主軸は市で整備し、それ以外の部分については民間提案がなければ導入しないことをはっきり決めている。できるだけ市の負担を軽くするとともに、民間提案は受け付けていくという形になっていると思う。

(B委員)

- ・市の役割と民間の役割を分けているのは合理的なやり方だと思う。その中で、公共が主導してやっていく内容については、具体的な検討をしていかななくてはいけないと思う。

- ・産業振興機能について、市独自の機能だけではなく、県の機関や地元公立諏訪東京理科大学のサテライト等、視野を広めて発展的に考えていく予定はあるのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・今回の資料には例として4機関のみ記載した。本市としても、市内に留まらない、地域全体の産業振興を見据えている。その中で、大学、民間企業、県の機関等に関しても想定している。

(A委員)

- ・アフターコロナにおいては、国の機関や国の支援機関のサテライトオフィスを作ることも十分考えられる。諏訪市のもづくりを支援する上で十分検討する必要はある。

(2) 建屋の取り扱いについて

(平尾委員長)

- ・(2) 建屋の取扱いについて、説明を願いたい。

(茅野企画政策係主査)

資料4に基づき説明

(平尾委員長)

- ・意見や質問があれば伺いたい。

(C委員)

- ・全体を通じてだが、委員会のスタートした令和元年からは世の中の状況が大きく変わっている、スケジュールの変更は仕方ないと思う。
- ・感染症の影響もあり、今現在の民間投資は冷え込んでいる。反面、地方の時代と言われ、八ヶ岳山麓の別荘や住宅地は注目されはじめている。そんな中、アフターコロナでもウィズコロナでも、産業振興については価値がぶれないものとなる。これについては進めていただきたい。
- ・その他の民間投資、民間提案による機能については、この先どのような時代になるかはわからない。急がず余裕をもって進めていただきたい。
- ・新築の場合、イベントスペースの面積が現在の半分になっているが、メッセへの影響はあるのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・イベントスペースについては、メッセだけではなく年間を通じた活用を踏まえて設定することとしている。メッセについても、今の規模のまま開催するのではなく工夫は必要となる。分散開催、外に仮設会場を作った開催、VR等新たな技術を使った発信方法等も想定される。
- ・もちろんメッセというイベントの重要性は認識している。この地域を盛り上げてきた熱い思いの入ったイベントである。メッセを含めた産業振興に対する火を消すことなく、それを生かして新たなステージに持っていきたいと考えている。

(D委員)

- ・新築の事例としてふじさんメッセが示されている。これについて新築に30億円近くかかっているようだが、収支はどのような状況で、収入のあるイベントがあるのか。わかるようなら教えていただきたい。

(茅野企画政策係主査)

- ・ふじさんメッセについては、実際には建築単価はこの資料よりも安いと聞いている。そんな中で、収支はなんとか取れていると聞いている。
- ・展示会以外にはプロレス等の興業イベントを実施している。それ以外にも富士市は規模も大きいことから様々なイベントが開催されていると聞いている。

(D委員)

- ・諏訪でもこのスペースで収益を確保できるイベントが集めることができるか。

(茅野企画政策係主査)

- ・今回示した 4,000 m²は案の段階であり、決定事項ではない。大規模にして使用料が高くなり使いにくくなる、稼働率が低くなるということであれば、規模を小さくすることも必要。年間を通じた活用を踏まえて規模を設定する。

(E委員)

- ・上諏訪駅に近い場所にこのような機能ができることは価値がある。
- ・イベントスペース含め産業振興機能を置いたはいいが、後は丸投げとならないよう、今の段階からどんな活用ができるか、どういった体制でやっていくのかの検討を別軸でやっていく必要があると感じている。
- ・すわっちゃオについては、いい状況で運営できていることを聞いている。ひろばについても今の段階から考えていってもらいたい。観光協会としても一緒に取り組んでいきたい。

(茅野企画政策係主査)

- ・広さを設定する前に活用方法を考える必要があるという点は我々も承知している。年間の活用について、この委員会とは別に考える機会を持つことも検討している。

(A委員)

- ・活用前からの検討は大切な点である。事前にどの程度のニーズがあるのかを踏まえて計画の策定をしていきたい。

(F委員)

- ・ものづくり、産業振興となると専門的知識が必要である。その面については、専門的なその分野の方々での検討が必要かと思う。
- ・作るものについては使い勝手の良いものになるように、焦らずに決めていただきたい。

(A委員)

- ・多様な使い方を想定すると使い勝手も重要となる。設計する段階には配慮すべき点である。

(B委員)

- ・施設のプロモーション体制がどれだけ充実しているかも重要。
- ・感染症の影響もあり、先はわからない状況。しかし、この事業がいつ頃完成するのかの想定でも良いので時期を決める必要もある。そこが不透明であり、決めていく必要性を感じている。

(A委員)

- ・世の中がかなり不透明な状況にあるが、出来るだけ早めにゴールとなる時期を設定していきたいと思う。
- ・ハードに注目されがちだが、人材やイベントというソフトも大事なポイントである。これ

についても同時並行で進めていく必要を感じている。

(平尾委員長)

- ・産業振興を軸として考えていく点と、建屋については新築を軸に考えていくことが妥当という点、それに加えてイベント等のソフト面も考えていくことが重要という点について、委員の皆様よろしいでしょうか。

(異議・意見等なし)

- ・イノベーションが起こるのは、資金もマーケット需要もない、崖っぷちに立ったときだ、という話を聞いた。コロナの影響もあり、多くの産業が厳しい状況にある。このような状況下においても、企業の背中を押すことで、イノベーションが生まれる可能性がある。このひろばから新たな時代を作っていくという明るい見通しを持ちながら計画を策定していきたい。これをもって、本日の議事を終了としたい。

5 事務連絡

(茅野企画政策係主査)

事務連絡

6 閉会

(木島企画部長)

- ・半年ぶりの会議となったが、どんなことが可能なのが議論、調査をし、今回の案を出させていただいた。今後、改めて調査等を実施し基本計画策定に向けて取り組んでいきたい。本日はありがとうございました。

(閉会 12時9分)